



この時代だから、生まれた寓話

「生きる」ことについての物語。
小説家に依頼して完成した
がんで娘婿を亡くしたカウンセラーが

自分の声が
聴こえなくなつたとま
心の植物を
癒す旅が始まる



ヒットの
予感満載の
小さな物語に
コメント続々!

傷ついた植物たちの話を聴き、
心を癒す「植物癒し」の旅の物語。
不思議な生き物との出会い、
その果てに読み手がたぐり寄せる、
大切な真実とは――

自粛中、家の中で、庭で、ぼんやり考えていたことの
答えを言葉にさせていただいたよう。
かちかちになっていた心を優しく解きほぐしてくれました。

コトリンゴ (音楽家)

「声」を聞けるとはどういうことか。本書の読者は、
震えるような足取りで「声」が湧き出る源泉へ降りてゆく、
ひとつの孤独な精神に出会うことになるだろう

平川克美 (文筆家・隣町珈琲)

自分だけでなく誰かの苦しみや寂しさに、そっと寄り添うこと。
ひとはそんなときに「再生」するのかもしれない

加賀谷敦 (あんず文庫)

ピクシブ文芸大賞受賞作家の新作!

植物癒しと 蟹の物語

小林大輝
(ピクシブ文芸大賞 受賞作家)

FAX: 03-3294-2177 JRC宛

◎取次 = JRC tel: 03-5283-2230
JRCを通して全ての取次への出荷が可能です。

貴店番線印	ご注文数	コトノハ	文芸・写真
ご担当	様	<p>植物癒しと蟹の物語 小林大輝</p> <p>9月末日発売予定 新書変形サイズ 予定 上製本/頁数128ページ ISBN 978-4-910308-01-2 価格 1600円+税</p>	

返品条件付き注文扱い